

国立市立国立第四小学校 令和5年度 第4学年 授業改善プラン

教科	観点	課題	具体的な手立て・改善策
国語	① 知識・技能	・ 日常的に書いている文章やテストの結果から、漢字の定着が十分ではない児童が1割程度いる。(①) ・ 「児童生徒の学力向上を図るための調査」の結果から、発表や話合いのときに、話す内容や順序を考えてから話すようにしていない児童が2割程度いる。(②) ・ 文章を読んで理解したことや考えたことを他の人に説明していると答えた児童が6割程度いる。(③)	・ 10問テストや50問テストを定期的に行い、繰り返し練習をする時間を確保し、習熟度を高めさせる。 ・ 国語以外の教科でも話し合う機会を計画的に取り入れ、相手や目的に応じて、理由や事例などを順序立てて話せるように指導する。 ・ 図書の時間や読書週間を活用し、多くの本に触れ、文章を読むことが楽しいと感じる機会を増やす。文章を読んだ後に感想を交流する時間を設け、主体的・対話的に学習できるようにする。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
社会	① 知識・技能	・ 都道府県の位置や名称を正しく理解できていない児童が2割程度いる。(①)	・ ICT 端末を使ったクイズ問題に取り組ませたり都道府県テストを繰り返し行ったりし、位置や名称、特徴を定着させる。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
算数	① 知識・技能	・ わり算の筆算の技能が十分でない児童が2割程度いる。(①) ・ 分度器を正しく使えず、180度を超える大きさの角を読み取ることや、作図をすることができない児童が3割程度いる。(①)	・ 「2けたでわるわり算」の学習前に、習熟を図る時間を設ける。 ・ 分度器を使う機会を増やし、角度を測る前には、90度、180度、270度より大きい小さいかを予測してから測るようにさせる。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
理科	① 知識・技能	・ 実験や観察は意欲的に行うが、その結果から考えることが苦手な児童が2割程度いる。(②)	・ 観察や実験から分かったことをノートやワークシートにまとめさせ、気付いたことを全体で共有することで、新たな気付きや深い学びにつなげていく。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
音楽	① 知識・技能	・ リズムの理解が十分でない児童が3割程度いる。(①) ・ 曲想を感じ取ることが苦手な児童が2割程度いる。(②)	・ リズムを手で叩かせたり、言葉で置き換えて伝えたりして理解させる。 ・ 音のみの鑑賞ではなく、映像資料を提示したり、教師による範奏を行ったりする。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
図画工作	① 知識・技能	・ 真面目に作品作りに取り組むが、少し自信がない様子の児童が1割程度見られる。(③) ・ 作品づくりが得意なものの、作品をさらに深めることについては面倒と感じる児童が1割程度見られる。(③)	・ 自信をもてない児童の作品のよい所を具体的に伝えて、自信をもたせるようにする。 ・ 児童が満足する範囲でより具体的に工夫できる場所を示し、作品をよりよくする方法について指導する。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
体育	① 知識・技能	・ 運動の楽しさは感じているが、技能の習得について、ポイントが身に付いていない児童が2割程度いる。(①) ・ 課題解決学習の学び方が身に付いていない児童が2割程度いる。(②) ・ きまりを守り、友達と仲良く認め合い励まし合いながら安全に気を付けて運動することができない児童が1割程度いる。(③)	・ 動画教材を視聴させたり、一人1台端末で撮影した映像を活用させたりして、ポイントを示し、技能を習得させる。 ・ ワークシートを活用し、自分の課題に向かって取り組むことができるようにする。また、課題を工夫して解決している児童をほめ、学び方のよさを理解することができるようにする。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		